

栃木市地域公共交通活性化協議会

平成22年3月2日設置

栃木市



概要

栃木市では、平成22年3月に合併し、新市における高齢者等の交通弱者対策と公共交通空白地域の解消を推進するとともに、新市の一体性の確立、均衡ある発展、住民の福祉向上を目指した新市のまちづくりに資する、新たな公共交通システムを構築する必要がある。そのため、地域現況調査、住民アンケート、需要予測等を実施し、総合連携計画を策定することにより、地域の特性や住民のニーズに適合した公共交通ネットワークを構築する。

○地域公共交通の現況

- ・鉄道：JR両毛線(2駅)
東武日光線(6駅)、東武宇都宮線(3駅)
- ・路線バス：1路線(國學院線)
- ・市営バス：生活バス(3路線)、循環バス(1路線)
福祉バス(12路線)
- ・民間タクシー：8事業者

○地域公共交通の課題

- ・運行経費の増大等による市の財政負担の増加
- ・公共交通空白地域の解消及び地域ごとの公共交通サービス不均衡の是正の必要性
- ・市町村合併に伴う新市の一体的なまちづくりの必要性

○調査の主な内容

- ・地域現況調査
- ・地域住民及び利用者のアンケート調査
- ・地域説明会(懇談会)の開催

○地域公共交通総合連携計画の策定(予定)

- ・既存バス路線の見直し
- ・新たな公共交通システム(コミュニティバス・デマンドタクシー等)の導入の検討
- ・駅を拠点とした効果的・効率的な公共交通ネットワークの構築

